

対象	小学校中学年以上
教科	理科・特活（朝の会等）
該当 単元	小学4年 「動物のからだの つくりと運動」 「とじこめた 空気と水」 等
教科書	東京書籍等
掲載日	2017.8.11. 朝刊 岐阜版

科学の面白さ 小中生が体感

岐阜大でイベント

最新顕微鏡で観察、DNA鑑定

岐阜市の岐阜大生命科学総合研究支援センターで十日、子どもたちに科学の面白さを伝えるイベントが相次いであった。

小中学生約四十人が集まったセミナーでは、五つのプログラムを体験。高速度カメラで風船が割れる瞬間を捉えたり、小さな球を棒でつないでダイヤモンドや黒鉛の分子構造の模型を作ったりした。



顕微鏡をのぞく子どもたち＝岐阜市の岐阜大で

虫を採取して、最新式の顕微鏡を使って観察するプログラムもあった。岐阜市長森北小六年の棚橋宏太君（こ）は、土の粒やハエが拡大された画面をのぞき、「普通では見られない細かい世界に感動した」と楽しそうだった。

別に催したDNA鑑定を体験する講座に異なるDNAの長さを観察した。（近藤統義）

問1：この記事には2つの催し^{もよお}が載っています。2つの催しを整理しましょう。

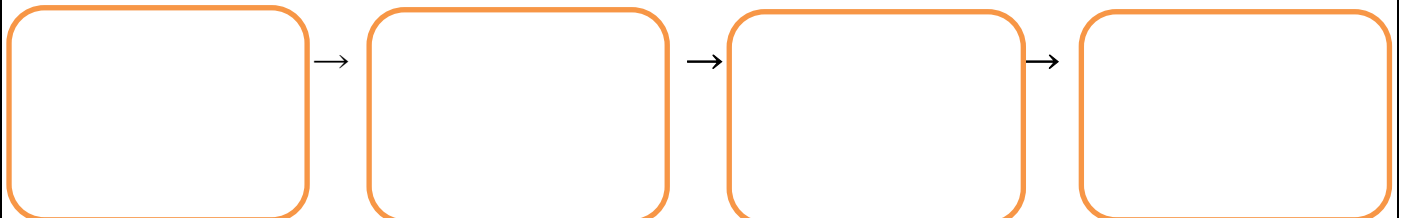
- ①()約40人が集まった()
- ②()約30人が集まった()講座^{こうざ}

問2：紹介^{しょうかい}されている中で、あなたがやってみたいと思うプログラムに○をつけ、その理由を書きましょう。

- A 高速度カメラで風船が割れる瞬間^{わ しゅんかん とら}を捉える体験
- B 小さな球^{ぼう}を棒でつないでダイヤモンドや黒鉛^{こくえん ぶんしこうぞう}の分子構造の模型^{もけい}を作る体験
- C 植物や虫^{さいしゅう}を採集^{けんびきょう}して最新式顕微鏡^{かんさつ}で観察する体験

理由()

問3：お米のDNA鑑定^{かんてい}の観察手順^{かんさつてじゆん}を整理しましょう。



【活用にあたって】

3年生から始まった理科の学習。4年生になると少しずつ科学色が濃くなってきます。発達段階からみても抽象思考が可能になるので興味・関心の幅もどんどん広がる時期といえるでしょう。

この記事にあるようなイベントが開かれていて、その内容を知ることによって、自分の興味・関心を探るきっかけにさせていただくとよいと思います。

解答例

問1：①(小中学生)約40人が集まった(セミナー)

②(中学生)約30人が集まった

(DNA鑑定を体験する)講座

問2：どれを選んでもよい。理由をしっかりと書くようにさせたい。

問3：4種類の米粒をすりつぶす

↓

試薬を加えてDNAを抽出する

↓

分析機器で紫外線をあてる

↓

品種ごとに異なるDNAの長さを観察する